

7月定例市長記者会見次第

日時：平成29年7月5日(水) 午前9時30分～／場所：庁議室

1 開会

2 市長話題提供

- ① 市民意識調査の結果について 【企画政策課】 資料1-1
- ② 住みよさランキングについて 【企画政策課】
- ③ MOA美術館所蔵品特別展示について
「黄金の茶室と現代日本美術の粋」 【文化振興課】 資料1-2

3 報告事項

- ① 掛川市小中一貫教育推進基本方針の策定について 【教育政策室】 資料2-1
- ② 「かけがわ茶エンナーレ」
第2回記者発表会及びプレイベントについて 【文化振興課】 資料2-2

4 主な行事について

- ① 「松ヶ岡物語」第3回講座 【社会教育課】
～松ヶ岡住宅の建築と明治天皇の行幸～
講師：常葉大学非常勤講師：和田 厚氏
と き：7月8日(土) 13:30～15:30
ところ：松ヶ岡
- ② 震災展～想定外の津波が襲った東日本大震災から学ぶ～ 【図書館】
と き：7月9日(日)～29日(土)
ところ：大須賀図書館 2階ギャラリー
- ③ 国民体育大会第38回東海ブロック大会バレーボール 【スポーツ振興課】 資料3-1
(ビーチバレーボール種目) 競技会兼第72回国民体育大会東海地区予選会
と き：7月23日(日) 9:20～開始式
ところ：大東ビーチスポーツ公園
- ④ 協働によるまちづくり地区集会(全31回) 【生涯学習協働推進課】 資料3-2
と き：7月24日(月)～11月21日(火) 19:00～21:00
ところ：市内31会場
- ⑤ 高校生一日ナース体験 【地域医療推進課】 資料3-3
と き：7月27日(木)・28日(金) 8:30～16:00
ところ：中東遠総合医療センター

- ⑥ 広島平和記念式典中学生派遣 【企画政策課】
◆結団式
と き：7月28日（金）10:00～
ところ：教育委員会2階 会議室
◆派遣日程
と き：8月5日（土）～6日（日）
- ⑦ 掛川納涼まつり 【観光交流課】
と き：7月29日（土）・30日（日）18:00～20:45
ところ：掛川駅中心市街地
- ⑧ 夏休み親子医学講座「自分の細胞を見てみましょう」 【社会教育課】
と き：7月29日（土）13:30～15:00
ところ：東京女子医科大学大東キャンパス
- ⑨ 震災展～揺れがつついた熊本地震から学ぶ～ 【図書館】 資料3-4
と き：8月1日（火）～8月19日（土）
ところ：大須賀図書館 2階ギャラリー
- ⑩ かけがわ中学生議会 【議会事務局】 資料3-5
と き：8月3日（木）13:30～16:30
ところ：掛川市議会議場
- ⑪ 掛川三城ものがたり展 【図書館】 資料3-6
と き：8月4日（金）～8月31日（木）
ところ：大東図書館 1階 生涯学習ホール
- ⑫ さかがわ学校給食センター落成式・内覧会 【学務課】 資料3-7
と き：8月9日（水）落成式10:00～ 内覧会14:00～
ところ：さかがわ学校給食センター

5 議会日程

全員協議会 7月21日（金）9:00～

6 質疑応答（進行：幹事社 静岡朝日テレビ・毎日新聞）

7 閉 会

次回定例市長記者会見 8月8日（火） 午前9時30分～ 庁議室

定例記者会見
平成 29 年 7 月 5 日
企画政策課

平成 29 年度市民意識調査等の結果について

平成 29 年度市民意識調査及び高校生意識調査の集計結果の概要について、下記のとおり報告いたします。

1 市民意識調査の結果

1 調査目的

平成 28 年度からスタートした「第 2 次掛川市総合計画」の推進にあたり、掛川市民が掛川市の現状をどう感じているか、また、掛川市の様々な施策について何に満足し何が不満なのかを把握し、更なる市民サービスの向上と着実な行政運営に繋げるため、以下の内容についてアンケート調査を実施しました。

- (1) 市民の関心の高い事柄に関する意識を調査
(①掛川の住みやすさ ②浜岡原子力発電所の今後について 等)
- (2) 第 2 次掛川市総合計画に定めた K P I (重要業績評価指標) に関する意識を調査
- (3) 第 2 次掛川市総合計画に定めた 18 のプロジェクトの市民の満足度と優先度を調査
- (4) シティプロモーション(魅力発信)に向けて、市民が思う掛川の自慢を調査

2 調査対象

市内在住の 18 歳以上の市民の中から 2,500 人を抽出した。

3 調査期間と調査方法

- (1) 調査期間 平成 29 年 5 月 2 日～平成 29 年 5 月 31 日
- (2) 調査方法 郵送により発送・回収

担当 掛川市企画政策課
地域創生戦略室 経営戦略係
深田貴子 竹内翔
TEL 21-1127

4 回収状況

1, 135枚回収（回収率 45.4%）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
配布数	2,500通	2,500通	2,500通	2,500通	2,500通
回収数	1,270通	1,078通	1,348通	1,198通	1,135通
回収率	50.8%	43.1%	53.9%	47.9%	45.4%

【年代別の回収状況】

	配布数（通）	構成比（%）	回収数（通）	回収率（%）
18歳以上20歳未満	88	3.4	24	27.3
20歳代	402	16.1	111	27.6
30歳代	402	16.1	158	39.3
40歳代	402	16.1	169	42.0
50歳代	402	16.1	220	54.7
60歳代	402	16.1	233	58.0
70歳代以上	402	16.1	216	53.7
無回答	0	0	4	-
計	2,500	100.0	1,135	45.4

5 結果概要 ※詳細は、別冊「市民意識調査報告書」をご覧ください。

(1) 掛川市の住みやすさについて（報告書：6ページ）

①住みやすさの割合

掛川市が住みやすいと思う市民の割合は80.0%で、前年と比べて0.7ポイントの減少となりました。中学校区別では、掛川区域が70%～80%台、大東・大須賀区域では50～60%台となり、南部地域において、住みやすさを実感していない方の割合が多い結果となっています。

【参考：平成17年度以降の経年変化】

(%)

17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
65.1	78.1	74.3	79.6	79.7	81.8	83.9	80.8	83.8	81.3	76.4	80.7	80.0

【中学校区別住みやすさの割合】

(%)

	東	西	栄川	北	原野谷	桜が丘	大浜	城東	大須賀
29年度	86.2	85.3	72.8	86.4	83.3	86.1	67.4	60.6	59.1
28年度	86.3	90.7	75.0	87.1	70.3	83.9	68.2	78.9	59.3
前年比	△0.1	△5.4	△2.2	△0.7	13.0	2.2	△0.8	△18.3	△0.2

②住みやすさの理由

住みやすさの理由としては、「新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど広域交通のアクセスの便がよいから」が62.7%と最も多く、次いで「気候が温暖だから」58.8%という結果でした（3つ以内で回答、上位3項目を記載）。

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人…908人

選 択 肢	件数	比率
1. 新幹線の駅や高速道路のインターチェンジなど 広域交通のアクセスの便がよいから	569件	62.7%
2. 気候が温暖だから	534件	58.8%
3. 自然が豊かだから	458件	50.4%

(2) 継続居住の意向（報告書：9ページ）

今後の居住については、「今の所にずっと住み続けたい・市内の別の場所に移り住みたい」と回答した人の割合が全体の86.6%、昨年よりも1.5ポイント上昇し、市内に継続居住の意向が高い結果となっています。

選 択 肢	件数	構成比率	H28構成比	前年比
1. 今のところにずっと住み続けたい	891件	78.5%	76.6%	1.9
2. 市内の別の場所に移り住みたい	92件	8.1%	8.5%	△0.4
3. 一度は市外に移り住みたいが、い ずれは掛川市に戻ってきたい	23件	2.0%	2.3%	△0.3
4. 掛川市に住み続けるつもりはない	107件	9.4%	9.6%	△0.2
無回答	22件	1.9%	2.9%	△1.0
計	1,135件	100.0%	100.0%	

(3) 浜岡原子力発電所の今後について（報告書：10ページ）

浜岡原子力発電所の今後については、「廃炉した方がよい」が43.1%で、前年と比べて1.4ポイントの増となり、「停止しておいた方がよい」の9.8%と合わせると52.9%が、「廃炉」もしくは「停止」と回答しています。

依然として、浜岡原子力発電所に対する不安の高さが表われています。

【参考：25年度以降の経年変化】

(%)

項 目	25年 度	26年 度	27年 度	28年 度	29年 度
廃炉した方がよい	42.8	43.6	41.5	41.7	43.1
停止しておいた方がよい	16.9	14.0	12.2	14.4	9.8
安全が確認できれば稼働	24.0	22.6	23.5	23.9	24.8
どちらともいえない	12.5	15.2	16.3	13.6	15.2
わからない	3.2	3.4	5.1	5.2	5.5
無回答	0.6	1.1	1.4	1.3	1.7

(4) 魅力発信のため市民が思う掛川の自慢できるもの（報告書：12 ページ）

移住・定住、シティプロモーションの推進に資するため、掛川市の自慢できるものを聞いたところ、「新幹線掛川駅」が最も多く、次いで「茶」、「城」、「掛川祭」という結果でした

（5つ以内で回答・上位4項目を記載）

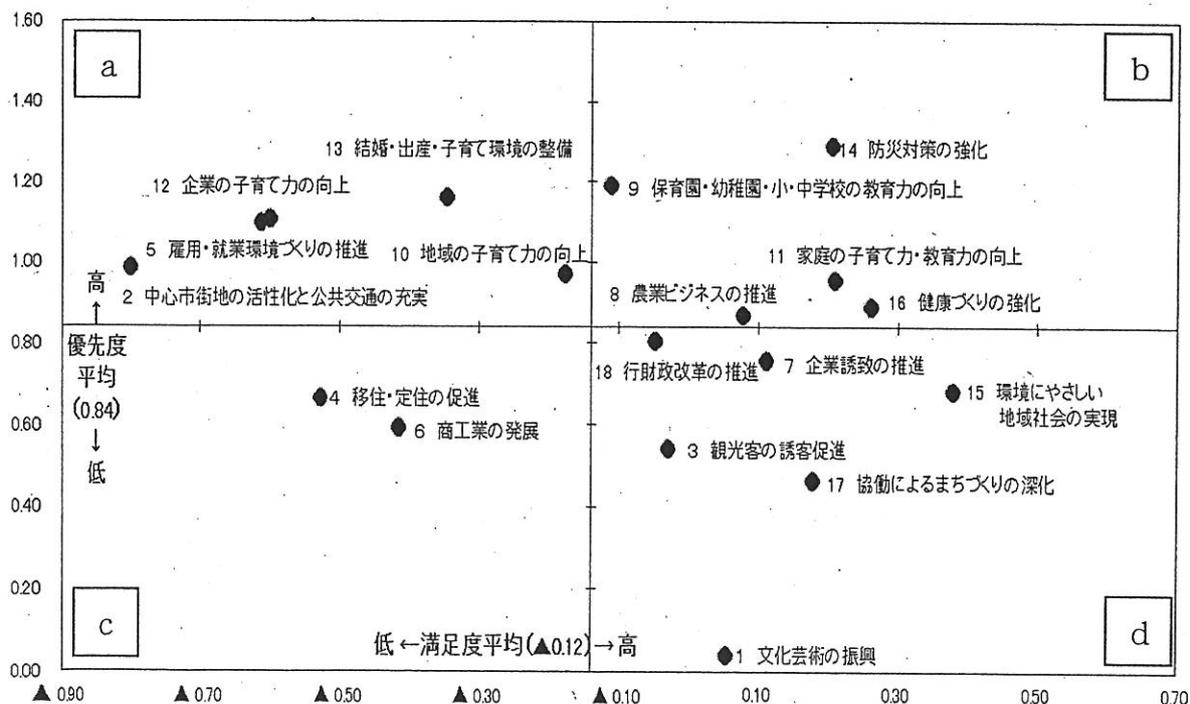
No.	項目	回答率
1	新幹線掛川駅	39.0%
2	茶	37.4%
3	城	34.4%
4	掛川祭	34.3%

「新幹線掛川駅」は、住みやすさの理由（(1)②参照）でも1位にランクインされており、多くの市民が交通の利便性を掛川市の大きな魅力と捉えていることが推察できます。また、10年連続産地賞を受賞した掛川茶や歴史ある3つの城なども、市民にとって掛川市の自慢の資源であることが分かります。

(5) ポートフォリオ分析によるプロジェクトの市民ニーズ（報告書：30 ページ）

ポートフォリオ分析とは、第2次総合計画基本計画に定めた18のプロジェクトの満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度、横軸に満足度をとってグラフ化することで、各プロジェクトの分布状態から、効果的な選択に活用しようとするものです。座標の原点は、満足度と優先度の平均値としています。

ポートフォリオ分析表



① 満足度は低く優先度が高いプロジェクト：aゾーン

現在、市民に必要とされながらも、事業がまだ不十分と考えらるもので、優先的に重点を置くべきプロジェクトといえます。

- ・ 2 中心市街地の活性化と公共交通の充実
- ・ 5 雇用・就業環境づくりの推進
- ・ 10 地域の子育て力の向上
- ・ 12 企業の子育て力の向上
- ・ 13 結婚・出産・子育て環境の整備

② 満足度・優先度ともに高いプロジェクト：bゾーン

現在も一定の水準の事業を行っていますが、市民のニーズも高いため、引き続き重点を置いていくべきプロジェクトといえます。

- ・ 8 農業ビジネスの推進
- ・ 9 保育園・幼稚園・小・中学校の教育力の向上
- ・ 11 家庭の子育て力・教育力の向上
- ・ 14 防災対策の強化
- ・ 16 健康づくりの強化

【満足度・優先度のランキング（上位5位）】

順位	満足度	優先度
1位	15 環境にやさしい地域社会の実現	14 防災対策の強化
2位	16 健康づくりの強化	9 保育園・幼稚園・小・中学校の教育力の向上
3位	14 防災対策の強化	13 結婚・出産・子育て環境の整備
4位	11 家庭の子育て力・教育力の向上	12 企業の子育て力の向上
5位	17 協働によるまちづくりの深化	5 雇用・就業環境づくりの推進

II 高校生意識調査の結果

1 調査目的

喫緊の課題である若者の人口流出に関する施策及び UII ターンに関する施策の検討に活用するため、高校生の意識や御意見を把握するため、高校生を対象とした意識調査を実施した。

2 調査対象

市内の高等学校に在席する3年生男女 901人

3 調査期間と調査方法

- (1) 調査期間 平成29年6月
 (2) 調査方法 直接配布・回収

4 回収状況

883枚回収（回収率 98.0%）

		人数	構成比
市内在住	男性	228	25.8%
	女性	209	23.7%
市外在住	男性	283	32.0%
	女性	156	17.7%
無回答		7	0.8%
計		883	100.0%

5 結果概要 ※ 詳細は、別冊「高校生意識調査報告書」をご覧ください。

(1) 高校卒業後の進路について（報告書6ページ）

高校卒業後の進路に関して調査したところ、「県外の大学・専門学校等へ進学したい」が43.6%でもっとも多い結果でした。また、全体の72.7%（H27年69.0%）が進学を希望しています。

あわせて、進学後の進路に関しても調査したところ、「県外で就職したい」が40.6%（H27年42.8%）、「掛川市以外の県内で就職したい」が44.5%（H27年36.4%）、「掛川市内で就職したい」が12.4%（H27年15.7%）となりました。

全体として、「掛川市内で就職したい」は18.6%（H27年16.8%）となっています。掛川市以外での就職を希望した理由については、「都会で働きたい」「掛川市に自分が就きたいと思う仕事がない」「出身市町で働きたい」が7割以上を占めていました。

高校卒業後の進路

	回答数	構成比
県内の大学・専門学校等へ進学したい	257	29.1%
県外の大学・専門学校等へ進学したい	385	43.6%
掛川市内に就職したい	55	6.2%
出身市町・今住んでいる市町（掛川市以外）に就職したい	65	7.4%
その他の県内に就職したい	68	7.7%
県外で就職したい	13	1.5%
まだ考えていない・特に決まっていない	40	4.5%
無回答	0	0.0%
計	883	100.0%

進学後の進路

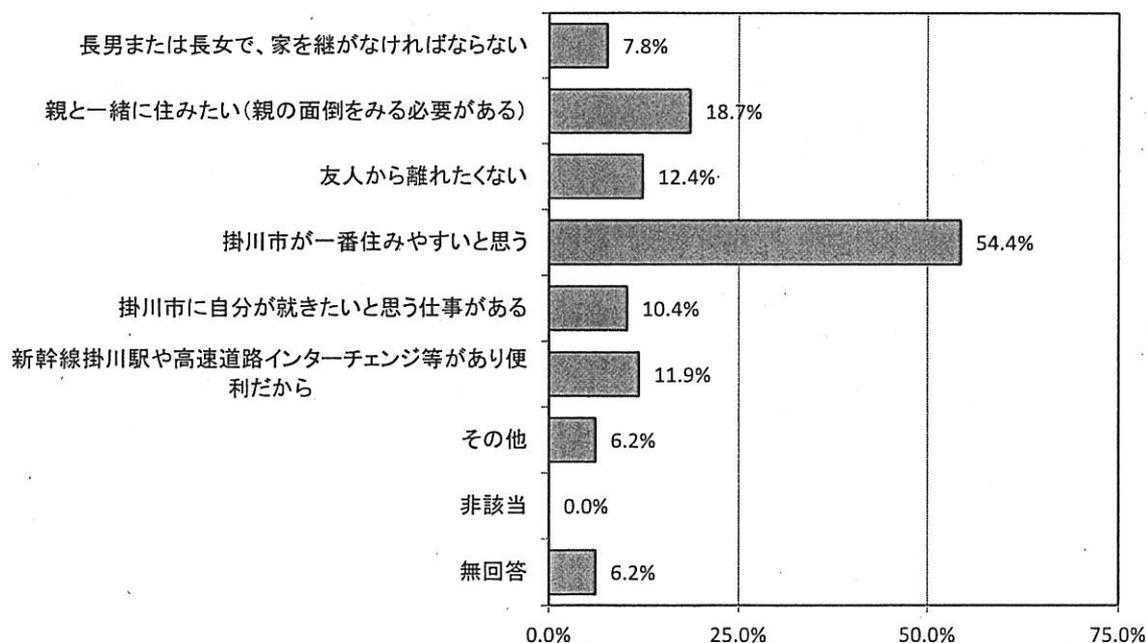
	回答数	構成比
掛川市で就職したい	80	12.4%
出身市町・今住んでいる市町（掛川市以外）に就職したい	103	15.9%
その他の県内で就職したい	185	28.6%
県外で就職したい	263	40.6%
外国で就職したい	12	1.9%
非該当	236	-
無回答	4	0.6%
計	883	100.0%

(2) 掛川市に住みたい理由について（報告書9ページ）

掛川市に住みたいと回答した人は193人（28.7%）で、複数回答の選択肢のうち「掛川市が一番住みやすいと思う」が54.4%と最も多く、次いで「親と一緒に住みたい（親の面倒をみる必要がある）」が18.7%、市民意識調査で1位の項目の「新幹線掛川駅や高速道路インターチェンジ等があり便利だから」は11.9%でした。

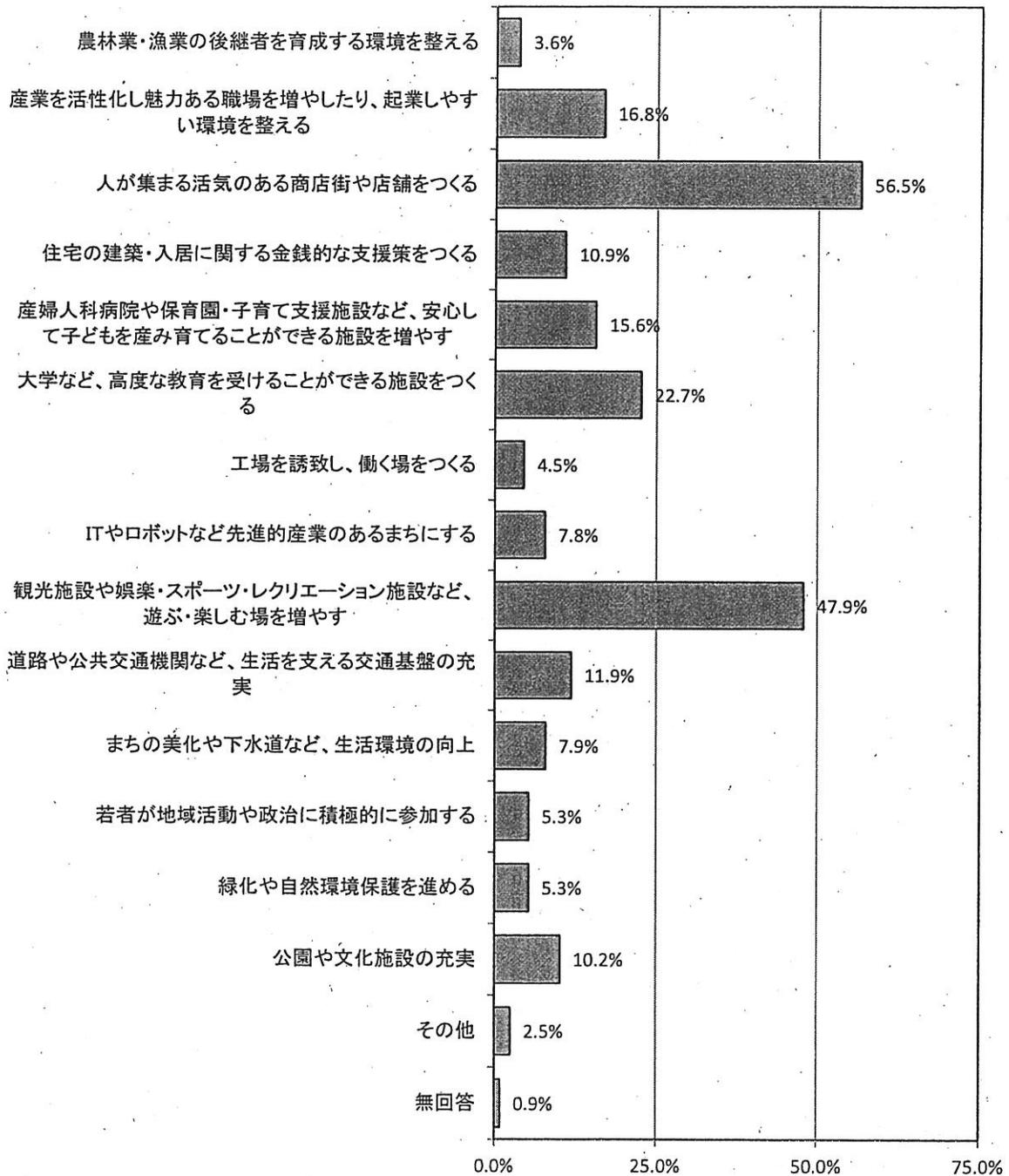
掛川市に住みたい理由

	回答数	構成比
長男または長女で、家を継がなければならない	15	7.8%
親と一緒に住みたい（親の面倒をみる必要がある）	36	18.7%
友人から離れたくない	24	12.4%
掛川市が一番住みやすいと思う	105	54.4%
掛川市に自分が就きたいと思う仕事がある	20	10.4%
新幹線掛川駅や高速道路インターチェンジ等があり便利だから	23	11.9%
その他	12	6.2%
非該当	672	-
無回答	12	6.2%
計	919	128.0%



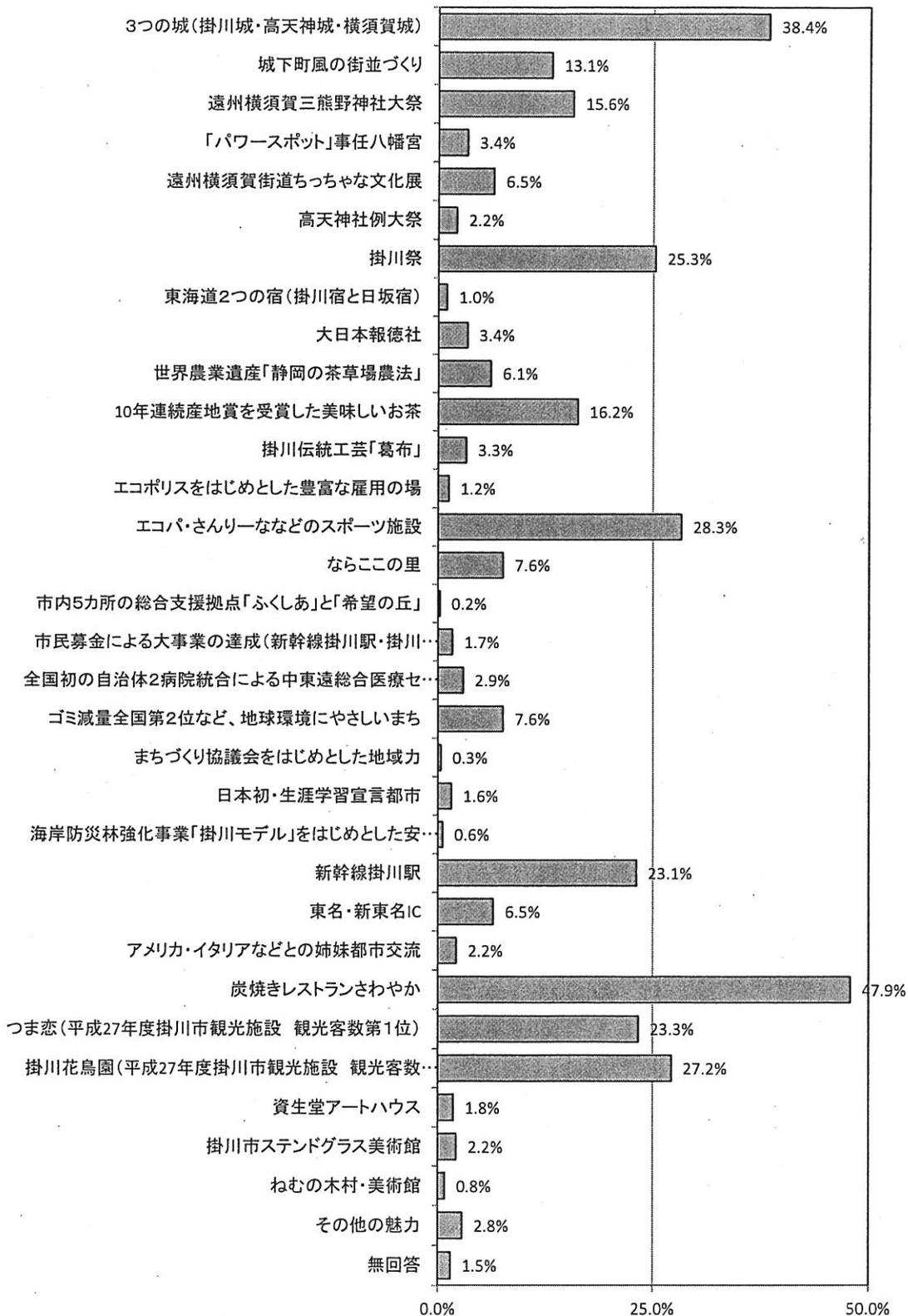
(3) 掛川市に住みたい・働きたいと思うために必要な取組について（報告書 11 ページ）

必要な取り組みは、全体では「人が集まる活気のある商店街や店舗をつくる」が 56.5%（H27 年 56.0%）と最も多く回答を得ました。次いで、「観光施設や娯楽・スポーツ・レクリエーション施設など、遊ぶ・楽しむ場を増やす」が 47.9%（H27 年 41.0%）、「大学など、高度な教育を受けることができる施設をつくる」が 22.7%（H27 年 23.0%）の順となりました。



(4) 掛川市の自慢できるものについて (報告書 12 ページ)

今回初めて調査する掛川市で自慢できるものについては「炭焼きレストランさわやか」が 47.9% ともっとも多く回答を得ました。次いで、「3つの城(掛川城・高天神城・横須賀城)」が 38.4%、「エコパ・さんりーなどのスポーツ施設」が 28.3%、「掛川花鳥園」が 27.2% の順となりました。



MOA美術館所蔵品 特別展示

黄金の茶室と

絢爛豪華な黄金の茶室(復元)と秀吉、利休にまつわる書画、茶道具。

現代日本美術

金工、陶芸、染織など現代に続く伝統の技と美。

2017年7月15日〔土〕—8月27日〔日〕

■観覧料 一般200円(20名以上の団体2割引料金)、中学生まで無料、8月21日〔月〕「県民の日」は入館無料他施設との共通セット券もご利用いただけます

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持する方とその介助者1名は無料

※しずおか子育て優待カード・掛川バスポート利用可

■開館時間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

■休館日 7月18日〔火〕・24日〔月〕・31日〔月〕・8月7日〔月〕

■主催 (公財)掛川市生涯学習振興公社/掛川市

■特別協力 MOA美術館

■後援 掛川市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社 郷土新聞社

の粋



掛川市二の丸美術館



黄金の茶室(復元)

MOA美術館は、創立者・岡田茂吉が戦後の混乱期、美術品の散逸を憂いて蒐集したコレクションの公開を目的に、昭和57年、熱海市に開館しました。その収蔵品は、日本や中国を中心とする絵画、仏教美術、陶磁器、書跡など、国宝や重要文化財を有するいずれ劣らぬ名品です。本展覧会はMOA美術館のコレクションを二部構成でご覧頂きます。第一部は、人間国宝の作品を含む現代工芸の逸品をご紹介します。岡田茂吉は美術品の蒐集だけでなく、未来の日本美術の発展にも大きな期待を寄せていました。この度、金工、陶芸、染織、漆芸、人形作品を展示し、現代に続く伝統の技と美をご覧頂きます。第二部では、「黄金の茶室」(復元)と豊田秀吉や千利休ゆかりの書画、茶道具を展示します。秀吉の命によりつくられた黄金の茶室は、その名のとおり室内から茶道具に至るまで金が用いられ、秀吉はここで正親町天皇に茶を献じたといわれています。絢爛豪華な「黄金の茶室」(復元)と桃山・江戸の茶の湯に関わる美術品、そして現代に受け継がれる日本美術の粋をお楽しみください。

イベント情報

■ 講演「MOA美術館のコレクションと黄金の茶室」

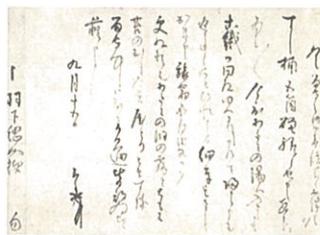
講師：矢代勝也氏 (MOA美術館学芸部次長)
 日時：8月5日[土] 13:30~14:30
 場所：掛川市立中央図書館・B会議室
 聴講料：500円(本展入館券付)
 申込：7月1日[土]より電話受付(先着70名)

■ 当館館長によるミニレクチャー

日時：7月29日[土]、8月12日[土] 13:30~14:00
 場所：掛川市二の丸美術館
 聴講料：本展観覧料
 申込：不要



千利休茶杓 追筒 桃山時代(16世紀)



千利休書状 桃山時代(16世紀)



井戸茶碗 銘 常盤 李朝時代(16世紀)



大角幸枝 南鍍花器 海風 1997年



長次郎 黒楽菊押茶碗 桃山時代(16世紀)



ご案内=JR掛川駅より徒歩約10分(掛川公園内)
 東名高速道路「掛川IC」から車で10分
 掛川バイパス「西郷IC」から車で10分
 駐車場=大手門駐車場(有料)
 掛川公園駐車場(有料)
 美術館横に身障者用駐車場(無料)



掛川市二の丸美術館

KAKEGAWA NINOMARU MUSEUM OF ART
 〒436-0079 静岡県掛川市掛川1142-1
 電話 0537 (62) 2061・ファックス 0537 (62) 2062
<http://www.kakegawa-artpark.com/ninomaru>

次回展覧会のご案内《引き込まれる空間 動き出すたまごたち — 今堀邦子展 — 》2017年9月2日[土]—10月15日[日]

定例記者会見
平成29年7月5日
教育政策室

掛川市小中一貫教育推進基本方針の策定について

1 小中一貫教育推進基本方針策定までの経緯

義務教育9年間を見通した掛川ならではの教育課程を編成し、地域の実情に応じた小中一貫教育の在り方を協議するため、静岡大学の武井敦史教授を委員長として、平成28年度、委員14名による「中学校区学園化構想第2ステージ検討委員会」を計6回開催した。平成29年2月28日に、報告書が委員長から教育委員会に提出された。この報告書を受け、3月16日及び27日に庁内検討委員会を開催し、掛川市小中一貫教育を推進する基本方針の検討及び協議を行い、「掛川市小中一貫教育推進基本方針（案）」を作成した。

この「掛川市小中一貫教育推進基本方針（案）」について、教育委員会定例会や総合教育会議での協議、市議会全員協議会への報告、さらには、パブリックコメントを募集する等、様々な立場の方からの意見を伺い、修正を加えた。

最終案は、6月教育委員会定例会において承認され、これを受けて、「掛川市小中一貫教育推進基本方針」を策定した。

2 推進基本方針の主な内容

(1) 掛川市が目指す小中一貫教育のねらい

「教育大綱かけがわ」における目指す姿の実現に向けて、中学校区学園化構想を生かしながら、各学園が地域と共に目指す子ども像を設定・共有し、その実現を図るため、9年間を見通したかけがわ型の小中一貫カリキュラムを編成して、それに基づいて行う系統性のある教育を推進する。

(2) 推進基本方針

- ①小中一貫教育を中心とした新たな学校づくりは、掛川市の特色である中学校区学園化構想を生かして、学園ごとの枠組みを基本に進める。
- ②全学園において、9年間を見通したかけがわ型の小中一貫カリキュラムを編成した教育を行い、市全体で質の高い教育を推進する。
- ③小中一貫教育の充実を図るために、地域の教育力向上の推進、地域が主体となって教育に参画できる仕組みを構築する。
- ④新たな学校づくりの在り方について、学園ごと、地域代表、保護者（園の保護者を含む）、学校関係、教育委員会、市長部局、外部有識者等を含めた会で検討する。
- ⑤子ども育成支援協議会やまちづくり協議会など、子どもの成長に関係する地域団体と共に、望ましい教育環境づくりを進める。
- ⑥小中一貫教育校の施設の在り方や種類等については、児童生徒数の推移や地域の意見及び地域の実情を踏まえた上で適切なものを選択する。
- ⑦各学園の枠組みを維持しつつ、可能な限り一学年に複数の学級が設置されるよう対策を講じる。
- ⑧新たな学校施設の在り方として、教育施設やその他公共施設の複合化・多機能化も視野に入れて地域の施設整備を構想する。

3 期待される効果

(1) 子どもたちへの効果

- ・上級生が下級生の手本になろうとする意識が高まる。
- ・下級生に上級生に対するあこがれの気持ちが強まる。
- ・思いやりや助け合いの気持ちが育まれる。
- ・学習意欲が向上する。
- ・学習習慣の定着が進む。
- ・学習規律、生活規律の定着が進む。
- ・なめらかな接続により、進学への不安を覚える児童が減少する。
- ・いわゆる中1ギャップが緩和する。
- ・学校生活への満足度が高まる。
- ・コミュニケーション能力が高まる。

学園内の幅広い異学年との関わりや、地域の方との交流など、多くの人と接する中で、あこがれや目標を身近に持ち、思いやりや社会性を高めていくことが期待される。また、小学校から中学校へのなめらかな接続により、中1ギャップを緩和し安定感のある学校生活を送ることも望める。さらに、義務教育9年間の学びと育ちの連続性を図った小中一貫カリキュラムにより、学習内容の定着や発展的な学習への取り組み、各学園や地域の特色を生かした学びなどを、今まで以上に系統的に学ぶことが可能となる。

(2) 教員への効果

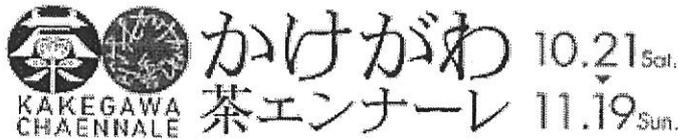
- ・指導方法の改善意欲が高まる。
- ・小、中学校の指導内容の系統性について理解が深まる。
- ・生徒指導力や教科指導力の向上につながる。
- ・小学校教員間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まる。
- ・小、中学校の教員間で互いの良さを取り入れ協力して指導に当たる意識が高まる。
- ・小、中学校共通で実践する取組が増加する。
- ・特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな指導が充実する。

小中学校の教員がお互いの学校で教育活動を行うことで、継続した指導や多面的な子どもの理解が期待できる。また、小学校段階においては、英語教育やプログラミング教育など専門性の高い授業内容にも中学校教員の力を借り、教育の質の向上につなげることも期待できる。

4 今後の予定

平成29年度から3年間、小中一貫教育研究校を指定し、原野谷学園と城東学園において、研究を進めるとともに、新たな学校づくりに向けて地域との協議を始める。

担当者名 横井和好・鈴木純一
電話番号 21-1109



かけがわ 10.21 Sat.
茶エンナーレ 11.19 Sun.

定例記者会見
平成29年7月5日
文化振興課

地域芸術祭「かけがわ茶エンナーレ」 第2回記者発表会及びイベントについて

「かけがわ茶エンナーレ」事業について、4月19日（水）に開催した第1回記者発表会では、かけがわ茶エンナーレの全体概要説明と、山口裕美総合プロデューサーによるアートセレクション参加アーティストの発表をいたしました。

今回は、市民や市民団体、地元ゆかりのアーティスト、地域ディレクターなどが主体となり、市内の6つのエリアで展開する「みんなのミュージアム」の概要発表を行います。各エリアの風土、歴史、景色、自然などの魅力を活かし、地域ごとに特色あるアートプログラムやイベントが展開されます。

また、記者発表と合わせ、「みんなのミュージアム」エントリー作家の乾久子氏によるワークショップ「くじびきドロ잉」を開催するほか、2つのワークショップをイベントとして開催し、子どもから大人まで多くの市民に参加していただき、市民への周知と気運醸成を図りたいと考えます。

については、第2回記者発表会へのご出席と、イベントとなるワークショップの開催告知及び取材について、お願い申し上げます。

記

1. 第2回記者発表会

- 日時 7月29日（土）10:30～12:00
会場 22世紀の丘公園「たまり～な」大研修室
（〒436-0011 掛川市満水1652 ※駐車場あり）
内容 ・みんなのミュージアム（市民参加プログラム）の概要発表
・参加者によるワークショップ「くじびきドロ잉」体験
出席者 浅井副市長
実行委員会（日比野会長、大木委員長、山口総合プロデューサー ほか）
みんなのミュージアム 参加アーティスト、市民エントリー応募者 ほか

2. イベント

(1) ワークショップ「お茶殻をつかったレンガづくり」

- 日時 7月9日（日）9:00～12:00
会場 南郷地域学習センター（〒436-0022 掛川市上張192-1 ※駐車場あり）
講師 森藤文華（建築家・エントリープログラム応募者）
参加者 南郷地区の皆さま（希望者30名程度）
内容 南郷地区で回収されたお茶殻と土を混ぜて、日干しレンガをつくります。
つくられたレンガを積み上げて、構造物（作品）として展示予定です。

(2) ワークショップ「くじびきドロージョウ」

日 時 7月29日（土）10:00～15:00
会 場 22世紀の丘公園「たまり～な」工作室
講 師 乾久子（作家・エントリープログラム応募者）
内 容 ワークショップ「くじびきドロージョウ」

※くじびきドロージョウとは

コミュニケーションをテーマにしたワークショップ。引いたくじに書かれていますお題の絵を描き、ことば（次のお題）を残して誰かとつなげる「ことばと絵のリレー」。

(3) ワークショップ「紙ねんどでお茶のはっぱをつくろう」

日 時 7月30日（日）9:30～15:00
会 場 大東北公民館（〒437-1434 掛川市下土方267-1 ※駐車場あり）
対 象 未就学児から小学生（2年生以下は保護者同伴）
内 容 紙ねんどでお茶のはっぱをつくります。できた作品は、かけがわ茶エンナーレ合同作品として、大東図書館に展示予定です。

参加料 子ども1人200円（子どもフェスティバル館内1日フリーパス）

申 込 大東北公民館（☎74-2200）へ電話、来館にて申し込み（※月曜休館）

その他 本ワークショップは、大東北公民館主催の「子どもフェスティバル」のプログラムのひとつとして開催します。

担当者名	中村・湯澤・神野
電話番号	21-1126

実施要項（ビーチバレーボール）

- 1 期 日 平成 29 年 7 月 23 日(日) 男子、女子
- 2 会 場 静岡県掛川市大東ビーチスポーツ公園
〒437-1412 静岡県掛川市千浜 8572-3 TEL 0537-72-5392
- 3 競技会名 国民体育大会第 38 回東海ブロック大会バレーボール（ビーチバレーボール種目）
競技会 兼 第 72 回国民体育大会東海地区予選会
- 4 競技種別及び参加人数

種 別	本大会出場県数	監 督	選 手	参加県	小計	参加人数
男 子	1	1	2	4	12	24
女 子	1	1	2	4	12	

- 5 競技上の規定及び方法
 - (1) 競技規則
2017 年度公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール競技規則による。
 - (2) 競技方法
両種別とも、28 点 1 セットマッチ（ノーキャップ）のリーグ戦とする。
 - (3) チーム名
チーム名は都道府県名とする。したがって、ユニフォームのチーム名も都道府県名とし、高校名・企業名などのユニフォームの着用は認めない。
 - (4) ユニフォーム
2017 年度ビーチバレーボールユニホーム規則による。
- 6 参加資格
第 72 回国民体育大会実施要項総則 5 に定めるほか、次による。
 - (1) 公益財団法人日本バレーボール協会登録規程により、登録された者で構成されたチームで予選会に出場し、その結果推薦された者でなければならない。
 - (2) 監督・選手は 6 人制種目とビーチバレーボール種目、両方に参加できる。
 - (3) ブロック大会及び本大会に参加するチームは、都道府県協会が代表として認めた単独チームか選抜チームでなければならない。ただし、チームの構成いかにかわらず、チーム名は都道府県名とする。
 - (4) 予選会（都道府県及びブロック）を通過し、本大会に代表として推薦された監督・選手の追加・変更（競技者番号の変更含む）は認められない。
 - (5) 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員の有資格者とする。
注 参加申込の際は、資格を証明する登録証の写しを添付すること。
 - (6) 選手の年齢基準は平成 14 年 4 月 1 日以前に生まれた者が参加できる。（高校 1 年生以上、成年を含む）
- 7 表 彰 別に定める大会総則 7 による。
- 8 申込方法 別に定める大会総則 8 によるもののほか、次による。
 - (1) 所定の Web ページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、申込期限までに申込手続きを完了すること。

- (2) 締切期限以降は所定のWebページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手の変更は、疾病・傷害・妊娠等やむを得ない理由がある場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては次の通りとする。

ア 提出期日 平成29年7月21日（金）まで

イ 提出先

① 〒422-8004 静岡県静岡市駿河区国吉田5-1-1 （公財）静岡県体育協会内
国民体育大会第38回東海ブロック大会静岡県実行委員会事務局
TEL 054-265-6464 FAX 054-262-3019

② 〒411-0942 静岡県駿東郡長泉町中土狩1111
三島殖産(株)秀峰寮内2棟2F （一社）静岡県バレーボール協会事務所
TEL 055-988-5373 FAX 055-988-5373

なお、公益財団法人日本体育協会に対しては、大会終了後、別途所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

- (4) 前記総則の申込書類のほかに、公益財団法人日本バレーボール協会MRS個人登録一覧表又は登記用紙の写しを添付すること。

9 代表者会議 男女 平成29年7月23日（日）午前8時50分 大東ビーチスポーツ公園

10 開始式 男女 平成29年7月23日（日）午前9時20分 大東ビーチスポーツ公園

11 第72回国民体育大会本大会出場資格

第38回国民体育大会東海ブロック大会の予選会を通過し、推薦されたチームであること。
東海ブロックからは男子上位1チーム、女子上位1チームが本大会に出場する。

12 その他

- (1) 案内所は設けない。
- (2) 会場の開門（コートの使用）については、7月22日（土）は午後1時から3時、競技会当日は7時30分から入場できる。
- (3) 開始式は、各チーム統一された服装で必ず全員が参加すること。
- (4) 大会使用球は、男子はモルテン製、女子はミカサ製を使用する。

定例記者会見
平成29年7月5日
生涯学習協働推進課

平成29年度協働によるまちづくり地区集会の開催について

今年度も下記のとおり地区集会を開催します。

記

1 主旨

市から地域に関する事項について話題提供を行い、地区まちづくり協議会が活動内容を発表することで、市と地区の取り組みを広く知らせる機会とします。また、地区の課題や市政全般における意見・要望・アイデアなどを発表し、それに対して市は提案及び助言をします。

- 2 開催時期 平成29年7月24日から11月21日まで（各会場の日程は裏面のとおり）
- 3 開催会場 地区まちづくり協議会の事業として31会場で開催
（掛川区域 21会場、大東区域 6会場、大須賀区域 4会場）
- 4 主催 掛川市、掛川市地区まちづくり協議会連絡会、掛川市区長会連合会
- 5 参集範囲
 - ・ 区役員（区長、小区長、副区長、会計、ブロック長、組長など）
 - ・ 地区まちづくり協議会役員、地域生涯学習センター長・事務長、地区福祉協議会代表、公民館長、市民活動団体
 - ・ 地区及び区が推薦する各種委員、区内の各種団体委員
 - ・ その他（地区青年部、女性部、シニアクラブ、PTA、各種団体、区民）
- 6 オブザーバー 県議会議員、市議会議員、市監査委員、小・中学校長など
- 7 内容（全体所要時間：90～120分）
 - ① 開会
 - ② 地元代表あいさつ
 - ③ 自己紹介（市幹部職員、オブザーバー）
 - ④ 市長あいさつ及び話題提供
 - ⑤ 意見交換
 - ・ 共通テーマ「地区まちづくり協議会が重点的に取り組んでいること」
 - ・ 地区別テーマ
 - ・ 自由討議
 - ⑥ 閉会

担当者名 自治活動支援係 佐藤・清水
電話番号 21-1129

協働によるまちづくり地区集会 H29 開催日程表【開催日順】

NO	地区名	月日	曜日	時間	会場
1	西山口	7月24日	月	夜間	東部ふくしあ
2	原泉	8月1日	火	夜間	原泉地域生涯学習センター
3	粟本	8月8日	火	夜間	粟本地域生涯学習センター
4	大坂	8月23日	水	夜間	大東市民交流センター
5	上内田	8月25日	金	夜間	上内田地域生涯学習センター
6	掛川第三	8月29日	火	夜間	中央小地域生涯学習センター
7	倉真	8月30日	水	夜間	倉真地域生涯学習センター
8	原田	9月6日	水	夜間	原田地域生涯学習センター
9	掛川第四	9月7日	木	夜間	城西区公会堂
10	睦浜	9月19日	火	夜間	大東市民交流センター
11	掛川第五	9月21日	木	夜間	掛川第五地域生涯学習センター
12	土方	9月22日	金	夜間	大東北公民館
13	西南郷	9月27日	水	夜間	西南郷地域生涯学習センター
14	南郷	9月28日	木	夜間	南郷地域生涯学習センター
15	大須賀第三	10月4日	水	夜間	大須賀市民交流センター
16	曾我	10月5日	木	夜間	曾我地域生涯学習センター
17	西郷	10月10日	火	夜間	西郷みらい館
18	城北	10月12日	木	夜間	城北地区ふれあいセンター
19	佐東	10月17日	火	夜間	佐東公民館
20	東山口	10月19日	木	夜間	東山口小学校体育館
21	大淵	10月20日	金	夜間	大淵農村環境改善センター（アイク）
22	桜木	10月23日	月	夜間	桜木ホール
23	原谷	10月24日	火	夜間	原谷地域生涯学習センター
24	掛川第一・掛川第二	10月26日	木	夜間	第一小学校体育館
25	和田岡	10月30日	月	夜間	和田岡地域生涯学習センター
26	日坂	10月31日	火	夜間	J A掛川市日坂支所
27	大須賀第一	11月9日	木	夜間	大須賀支所南館2階
28	千浜	11月10日	金	夜間	千浜農村環境改善センター
29	東山	11月14日	火	夜間	東山地域生涯学習センター
30	中	11月17日	金	夜間	中地区コミュニティ防災センター
31	大須賀第二	11月21日	火	夜間	大須賀支所南館2階

【開会】 午後7時

定例記者会見
平成 29 年 7 月 5 日
地域医療推進課

高校生一日ナース体験の開催について

例年開催しております高校生一日ナース体験が下記のとおり開催されます。

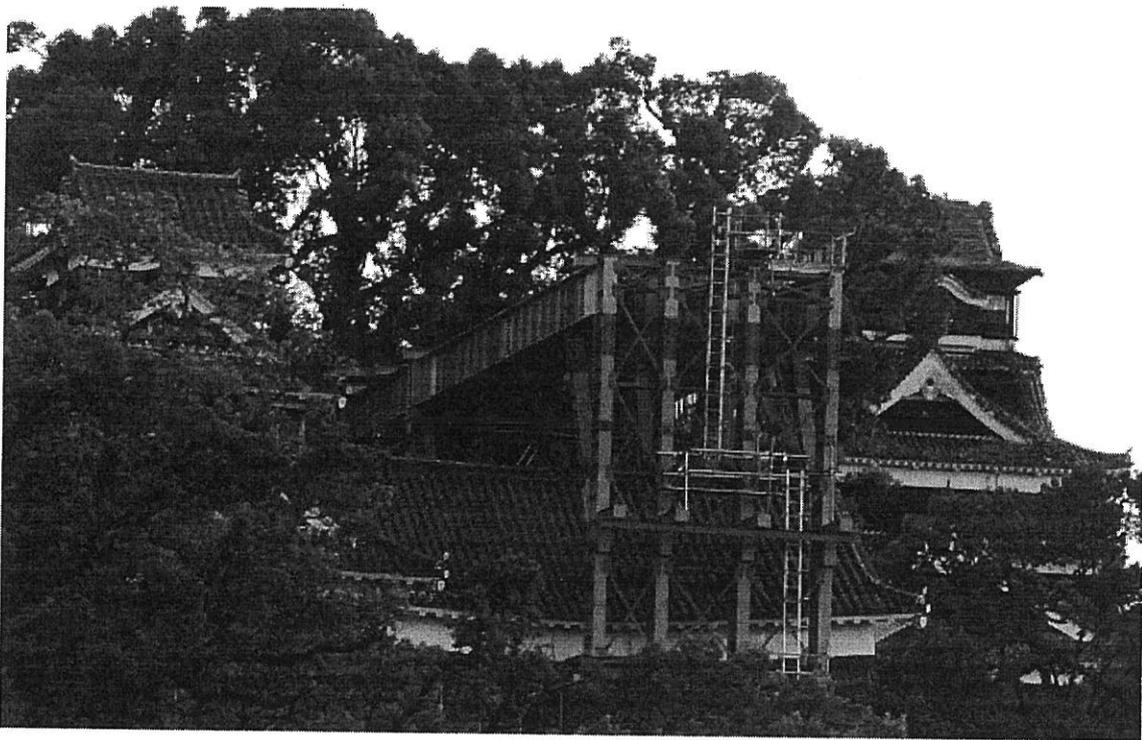
記

- 1 目的 急速に進む高齢社会のなかで、看護職が果たす役割・使命は大きい。将来、社会を担う高校生に、看護場面の体験を通して「看護の心」の理解と看護職への関心を深め、一人でも多くの方が、将来看護の仕事を選択していただくように実施する。
- 2 日時 平成 29 年 7 月 27 日(木)及び 28 日(金)
各日午前 8 時 30 分～午後 4 時
取材していただける場合は午前 10 時～正午でお願いいたします。
- 3 会場 中東遠総合医療センター 各一般病棟（4～8階、計 10 病棟）
直接各病棟にお越しいただくか、下記担当までご連絡ください。
- 4 参加者 各日 近隣高校生 約 30 名
- 5 その他 「公益社団法人 静岡県看護協会」の事業の一環として毎年行われています。白衣に着替えて看護体験をしてもらい、看護師の働く姿、現場の様子などを見聞きし、看護師への夢を大きく育んでもらいたいと考えています。

問合先：中東遠総合医療センター
経営戦略室 渡邊江里・野末徹
電話番号 28-8920(直通)

震災展 ～揺れがつづいた 熊本地震から学ぶ～

熊本地震は4月14日に発生し、その後は断続的に地震が続きました。そして熊本県に大きな被害をもたらしました。熊本地震の経験から私たちにできることを考えてみませんか？



写真：熊本城 補修工事（平成28年6月）

期間：8月1日（火）から8月19日（土）

開館時間：午前9時から午後5時（金曜日は午後7時まで）

休館日：月曜日

会場：大須賀図書館 2階ギャラリー

協力：ふっこう支援掛川、掛川の風景を創る会、どうぶつ共生防災ネットワーク
避難者を支援する志太榛原住民の会、静岡県地震防災センター

お問い合わせ先：大須賀図書館 掛川市西大淵63-2 電話0537-48-5269

定例記者会見資料
平成29年7月5日
議会事務局

かけがわ中学生議会開催について

【事業概要】

掛川市内の中学校9校の男女各1人による代表生徒18人が議員となり、所属する学校や学級ごとに、中学生の自由な発想や視点から捉えた意見を集約し、質問や意見交換を行う。

1 開催日

平成29年8月3日（木） 午後1時30開会 午後4時30分閉会（予定）

2 参加者

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (1) 中学生議員 | 18人（議長1人、副議長1人、議員16人） |
| (2) 執行部 | 市長、教育長、副市長、各部長等 |
| (3) 議会 | 全議員 |

【事業目的】

年齢満18歳以上満20歳未満の者が国政選挙に参加できるようになったこととともない、中学生による「かけがわ中学生議会」を開催し、行政や市議会の仕組みについて理解するとともに、政治への関心を持ち、主体的に政治に参画しようとする意欲を醸成する。

また、できるだけ社会科や総合的な学習の時間の授業と関連づけて質問を考え、代表の生徒だけでなく多くの生徒が議会に関心をもつ機会として捉えるようにする。

【期待される効果】

政治への関心を持ち、主体的に政治に参画しようとする意欲を醸成することができる。

【年間スケジュール】

5月16日：中学生議員選出

6月上旬：一般質問通告要旨の提出

7月10日：学習会開催

実施内容：議会の仕組み説明、任命証書付与式、
議長・副議長の選出、一般質問通告要旨のアドバイス

6月下旬：一般質問通告要旨の回答依頼

7月20日：かけがわ中学生議会リハーサル

8月3日：中学生議会の開催

実施内容：一般質問、宣言文の採択

（ 担当 議会事務局 鈴木、伊藤
電話 21-1160 内線3731 ）

高天神城「続日本100名城」選定記念

掛川三城 ものがたり展



掛川市には大小約 40 の城郭が確認されていますが、その中でも戦国時代後半から近世にかけて歴史上にも名を残す舞台となった城郭が、「掛川城」「高天神城」「横須賀城」の三城です。

このたび、今川、武田、徳川の激しい攻防の舞台ともなった三城について知っていただくため、三城のジオラマや出土品等の展示、三城を紹介する動画の上映などを行います。

期 間	平成 29 年 8 月 4 日 (金) ~ 8 月 31 日 (木) 午前 9 時 ~ 午後 5 時 (木曜日は午後 7 時まで、月曜休館)
会 場	掛川市立大東図書館 静岡県掛川市大坂 7152 電話 0537-72-1143
主 催	掛川市・掛川市教育委員会
協 力	掛川観光協会、高天神城観光ボランティアの会 袋井市郷土資料館、お城ジオラマ復元堂、遠州掛川鎧屋

定例記者会見
平成29年7月5日
学務課

掛川市立さかがわ学校給食センター落成式及び内覧会を開催します

この度、掛川市立さかがわ学校給食センターが完成し、9月1日から掛川区域の15小学校と1幼稚園に給食を提供を開始します。さかがわ学校給食センターの完成により、市内4ヶ所の学校給食センターから給食を提供することとなります。

つきましては、下記のとおり落成式及び内覧会を開催します。

記

日時 8月9日(水) 落成式：午前10時 内覧会：午後2時

会場 掛川市逆川653-15 さかがわ学校給食センター内

内容 落成式：式辞、建設経過報告、感謝状贈呈
内覧会：調理エリアを含む施設
(衛生管理基準により今回のみ見学可能)

事業の概要

① 目的 掛川区域の小学校8調理場の老朽化対策

② 仕様

- ・ 1日最大6,000食の給食調理が可能(2献立)
- ・ 鉄骨造一部2階建て(延べ床面積2,571㎡)
- ・ 総事業費 2,384百万円(見込み)
- ・ 事業経過
 - 平成26年度 学校給食基本計画作成
 - 平成27年度 設計、用地取得、給食受入施設整備設計
 - 平成28年度 建設工事
 - 平成29年度 建設工事、外構工事、給食受入施設工事

担当者名 鈴木英雄・岩倉直樹
電話番号 21-1155